



JR連合は かわいい たかのりさんに、 “JR産業がコロナ危機を乗り越え、安全で持続可能な 地域公共交通を構築する”ための支援を求めます

鉄道の災害復旧や防災・ 減災対策などに対する支援を求めます

鉄道事業を根幹とするJRグループにとって優先課題は安全の確立です。事業者とそこで働く者たちが職場における安全確立に全力で取り組むのみならず、国に対して安全確立にむけた適正な関与を求めます。特に昨今の集中豪雨、大型台風、大地震などによる鉄道施設の災害復旧や防災・減災対策、トンネルや橋梁などの老朽化対策などへの国の予算拡充と積極的な支援を求めます。



「魅力あるバス産業の構築にむけた 取り組みの推進を求めます」

軽井沢スキーバス事故以降、安全対策をはじめ、各種ルールの見直しや法律改正が行われ、バス産業を取り巻く環境は大きく変化しています。バス産業で働く者の賃金や労働条件などが他産業に比較すると低位にあることから、労働力不足が産業全体で深刻な課題となっています。事業者の安全確立の取り組みを適切にサポート・チェックするほか、働き方を見直し、適正な市場環境をつくりあげるなど、魅力あるバス産業の構築に対する積極的な支援を求めます。

「高速鉄道ネットワークの着実な 推進を求めます」

北陸新幹線の敦賀延伸や九州新幹線・西九州ルートへの整備、北海道新幹線の札幌延伸に向けては、それぞれ国による着実な計画の推進が必要不可欠です。また、新幹線開業効果を最大限高めるためにも北陸新幹線の敦賀以西の区間への早急な予算措置、さらには、基本計画に留まっている四国エリアへの新幹線導入に向けた整備計画の策定が必要です。鉄道特性を最も発揮できる新幹線をはじめとする高速鉄道ネットワークの整備推進にも積極的な支援を求めます。

「厳しい環境にあるJR各社への 経営支援策を求めます」

JR各社は、コロナ禍により未曾有の経営危機に陥り、今なお回復の兆しが見えません。とりわけJR北海道とJR四国は、経営基盤が脆弱でありながら、地方ローカル線を多く抱え、より厳しい経営環境にあります。また、2030年に上場をめざすJR貨物についても、モーダルシフトへの追い風は一定程度あるものの、経営体力は脆弱です。そこで、これらJR各社の回復と経営安定化に繋げるべく、コロナ対策と社会・経済活動の安定的な両立を図る環境整備の推進と、雇用確保と事業活動の継続等に必要の中長期的な支援策の展開を求めます。

「持続可能な地域公共交通の 実現を求めます」

鉄道やバスをはじめとする地域公共交通のあり方について、交通政策基本法や地域公共交通活性化再生法では、事業者まかせにせず、沿線の都道府県や市町村も連携・協働してその活用方法を見出していき、いわゆる法定協議会の枠組みが整備されています。まずは、この枠組みがしっかりと活用されるための環境整備、さらには、予算に係る課題や都道府県をまたぐ路線等への対応に向けて、国の積極的な関与および支援を求めます。

第26回 参議院議員選挙

比例区でJR九州労組が推薦!



かわいい たかのり